



図書館員が選ぶ この一冊

14

『新・御宿かわせみ』

平岩弓枝/著

文藝春秋

時は明治、イギリスへの医学
留学を終え帰国した^{かみばやしあさ たろう}神林麻太郎
が、東京大川端の宿「かわせみ」^{おおかわばた}



に戻ってきた。女主人の「るい」をはじめ娘の
千春、使用人の^{かすけ}嘉助、^{きち}お吉が喜びと共に迎える。
親友の^{げん たろう}源太郎や^{はなよ}花世とも再会を果たし、築地居
留地の医師バーンズ先生のもとで働き始める。
そして、医者見習いの傍ら、昔のように難事件
解決に挑むのであった。

江戸の幕末を舞台にした、著者の代表作の一つである大作「御宿かわせみ」シリーズの続編。舞台は明治となり、主人公も代替わりし子どもたちへと移っていく。西洋文化を受け入れ始めた日本人の生活に思いを馳せる新シリーズである。